指定避難所に保管中の避難所運営用資機材

資 機 材 名	
①	毛布
②	簡易トイレセット(処理袋 10 枚付)
③	簡易トイレ処理袋(200 枚入り/箱)
④	肘掛付簡易トイレセット(処理袋 25 枚付)
⑤	マンホールトイレ
⑥	マンホールトイレ用テント(シングル・ダブル)
⑦	個室テント
⑧	間仕切り(段ボール製・ナイロン製)
⑨	避難所用マット(1m×20m)
⑩	避難所開設セット
⑪	防雨シート
⑫	発動発電機
⑬	投光機セット
⑭	コードリール
⑮	保存用ガソリン(1 缶 1ℓ入り)

資 機 材 名	
⑯	ハイジャッキ
⑰	炊飯装置
⑱	救急医療セット
⑲	LP ガス装置(ボンベ庫)
⑳	折畳式　リヤカー
㉑	災害救助用 資機材セット
㉒	救命ロープ
㉓	特設公衆電話セット

資機材の中には、指定避難所ではなくコミセンに

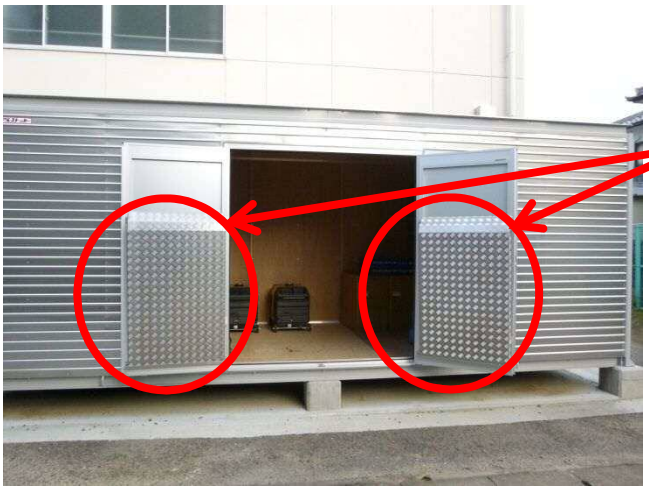
保管している地域もあります。

防災備蓄倉庫

平成 24 年度より順次整備中の倉庫。

寸法：W616×D235×H240[㎝]

（面積：14.5 ㎡）



倉庫を開場後、扉に取り付けてある板を外し、入口枠にひっかけてスロープとして使用して下さい。

（※板は、重いので設置・撤去する際には、２名以上で作業してください）

スロープを設置した状態

①毛布

真空パックにして保管

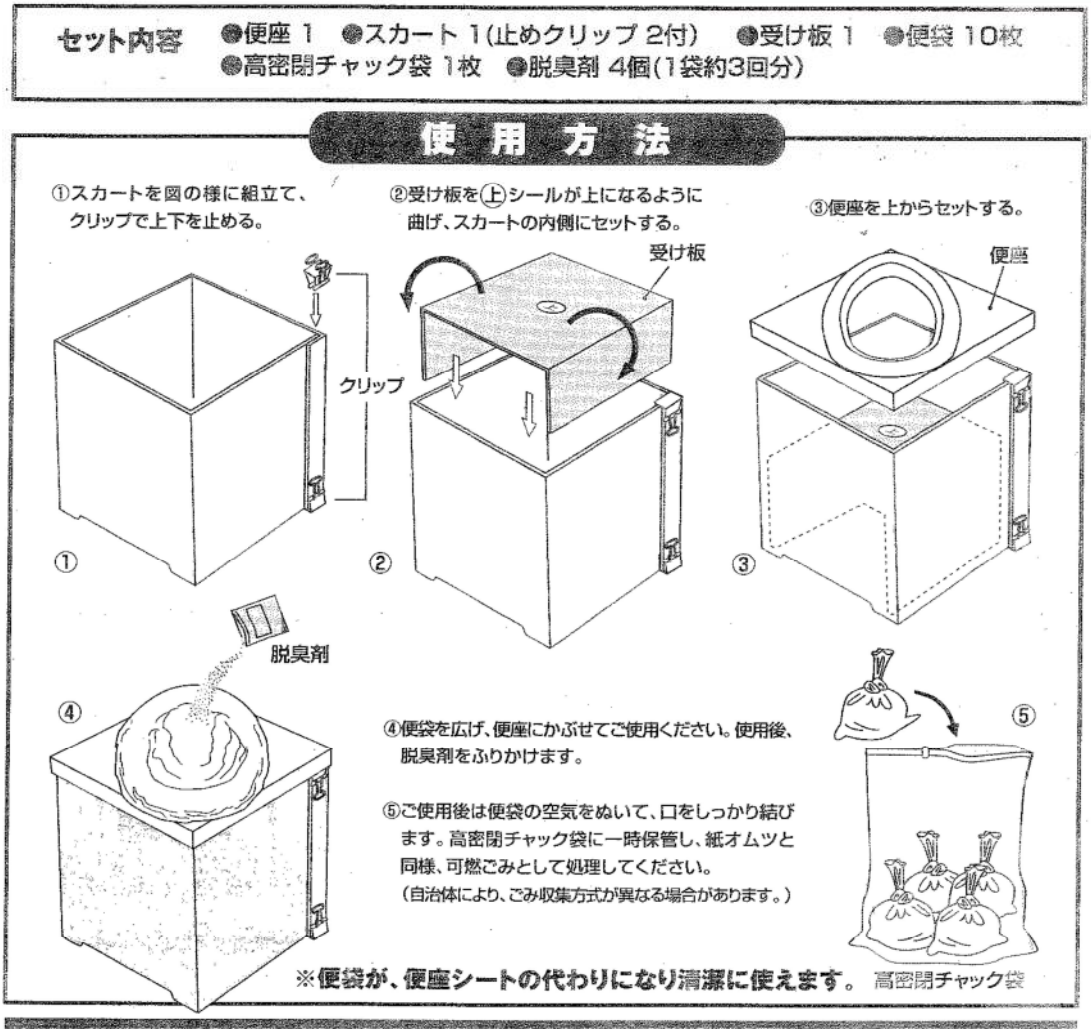
※公民館内にも 15 枚保管（5 枚を 1 パックにして×3 個）

②簡易トイレセット

(処理袋 10 枚付)

③簡易トイレ処理袋

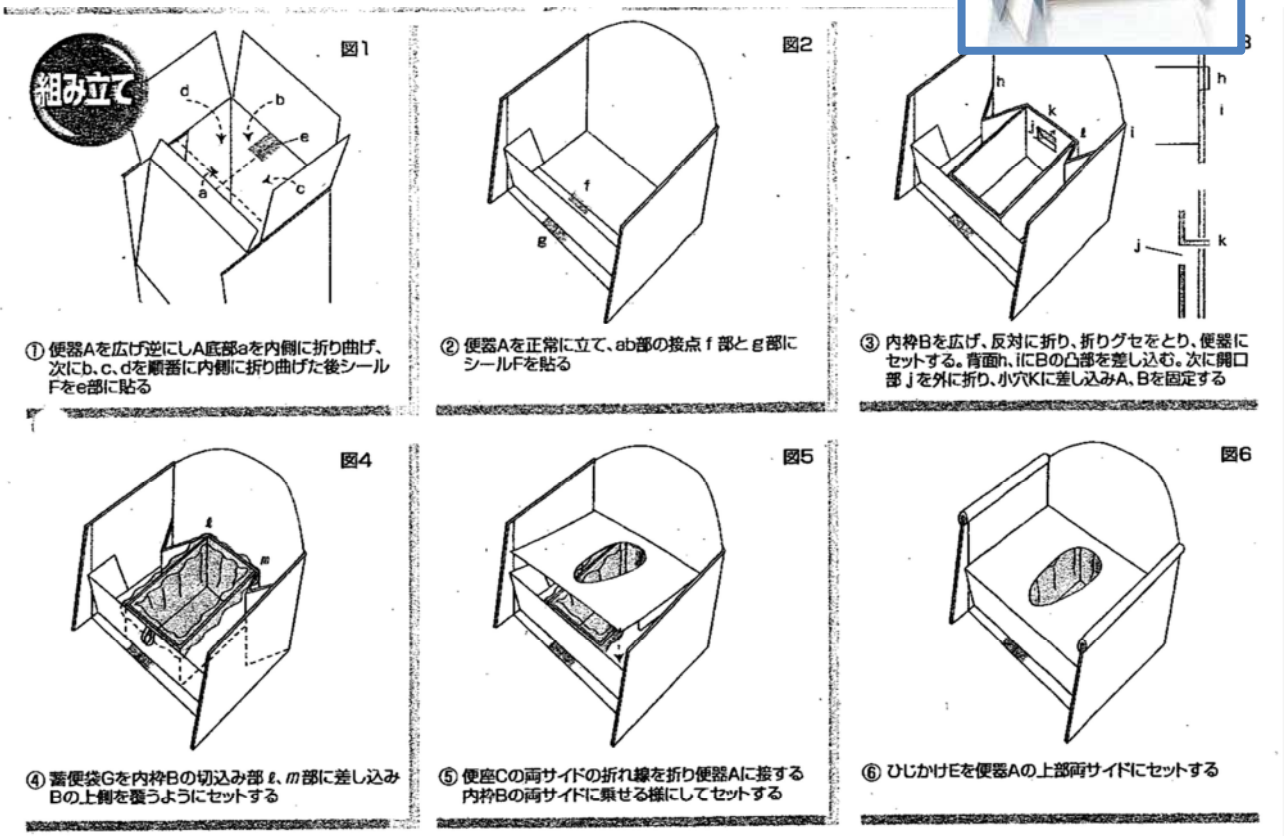
（200 枚入り/箱）



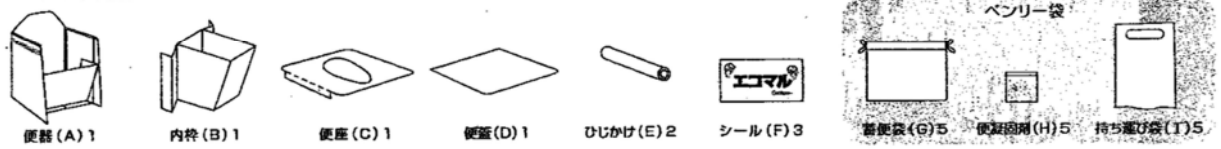
④肘掛付簡易トイレセット

（処理袋 25 枚付）

お年寄りにも使い易い肘掛付きです。



セット部品とセット数

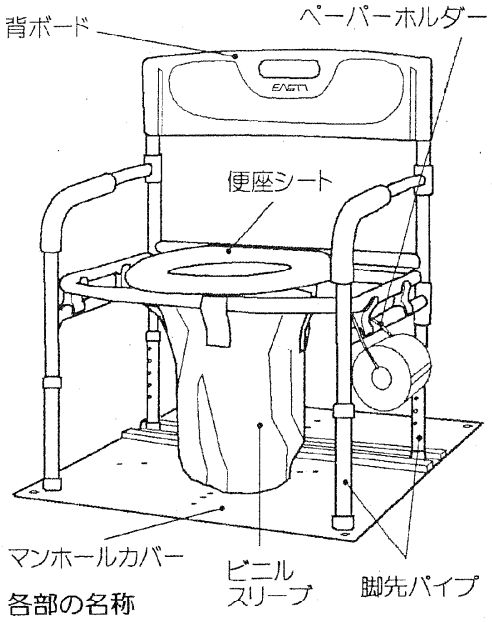


注　意

- ●便を収容した蓄便袋を可燃ゴミとして処理する場合は市町村の条例に従って下さい。
- ●蓄便袋は尖ったものには接触しない様にして下さい。
- ●便に異常のある場合は固りにくい事があります。
- ●両方のひじかけをもってゆっくりと立ち上がって下さい。
- ●湿気の多い所での使用や保管はしないで下さい。
- ●便凝固剤は食べられません。
  幼児の手の届かない所に保管して下さい。

商品名	エコマルⅡ
記　号	EMW-2
サイズ	商品：W 54　H85　D45cm（便座迄の高さ40cm） 外装：W113　H69　D15cm
重　量	商品：3.5kg　外装：4.6kg
セット内容	セット部品図を参照
素　材	便　　器：複両面ダンボール　　ひじかけ：ポリエチレン 便　　座：複両面ダンボール、ポリエチレン、水性ジェル 蓄便袋：ポリエチレン　持ち運び袋：ポリエチレン 便凝固剤：高分子吸水樹脂、食添用殺菌剤

⑤　マンホールトイレ



各部の名称

災害用マンホールトイレ
洋式ワイドタイプ大型

取 扱 説 明 書

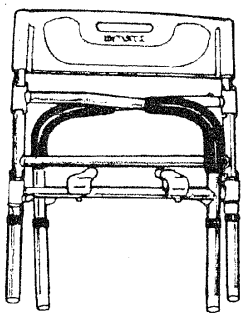
丸型マンホール内径20～60cm対応

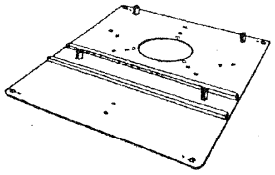
ご使用前に必ず、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。また、この「取扱説明書」はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

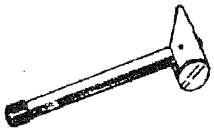
＊このトイレを使用する場所（汚水マンホール）を事前に確認し、災害時には定められた場所に設置してご使用ください。
＊このトイレはマンホールの内径が20cm以上60cm以下に対応しています。
　マンホール内径が60cmを超える場合には使用できません。
＊同梱されている部品の「ペグ」「簡易ハンマー」はサービス部品です。設置場所よっては、使用が難しい場合があります。事前に、設置場所の地面の状態をご確認いただき、状況に適した部品をご用意ください。

【ご使用前の確認】

・この災害用マンホールトイレには、下図の部品が梱包されています。組立前にご確認ください。


本体


マンホールカバー
（内径20/24/30/40/50/60cm用）

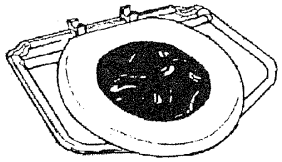

簡易ハンマー

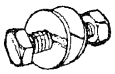
ペーパーホルダー

6角レンチ（1本）

ペグ（4本）

コンクリート釘（4本）


便座シート（ビニルスリーブ付き）


位置決めボルト（3セット）
（ボルト・ナット・ワッシャー2枚）

スパナ（2本）

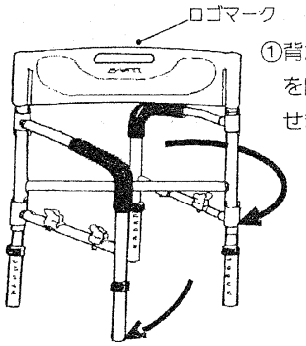
ペーパー（1巻き）

＊説明の都合上、実際の製品に対し、全てのイラストは簡略化しております。

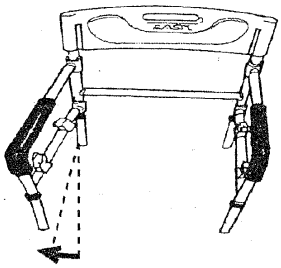
【組立方法】

1. 本体の組立準備

⚠指はさみ注意



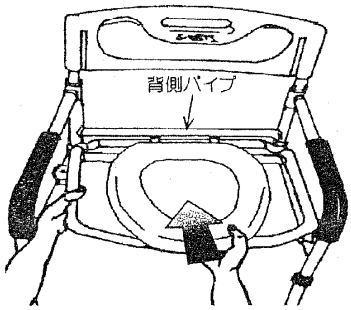
①背ボードのロゴマークが正面を向くように手すりを回転させます。



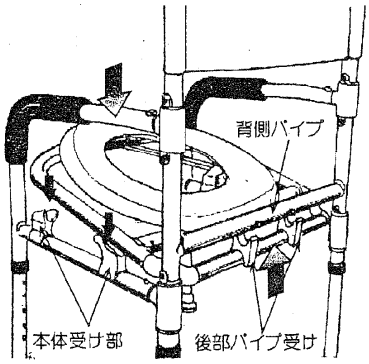
②左右どちらか片方の脚を少し開くと、便座シートをはめ込みやすくなります。
(左図は右側の手すりを少し開いています。)

2. 便座シートの取付

⚠指はさみ注意



①便座シートを両手でしっかりと持ち、便座シートの後部パイプ受けが、本体背側パイプにはまるように(便座シートを下側に斜めに)差込みます。

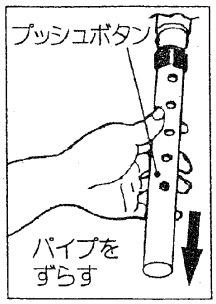


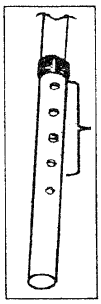
②少し開いた手すりを元に戻し、本体受け部のピン(左右4ヶ所)を便座シートのパイプ穴に合わせ、シートを上から押し、はめ込みます。

⚠注 意 ●便座シートを取付けの際は、床や足の上に落とさないようにご注意ください。

3. プッシュボタン位置の調節

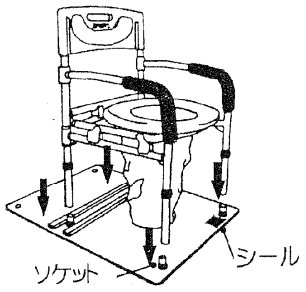
⚠指はさみ注意

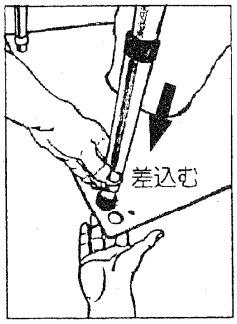




①プッシュボタンを押しながらパイプを下にずらします。
●脚先パイプの一番下を除く上側4つの穴をご使用ください。便座の高さは40~47.5cmまで2.5cmずつ4段階調整ができます。
②プッシュボタンは穴から大きく出るまで、確実にセットしてください。本体をマンホールカバーに取付後、使用しやすい高さを確認してください。
●脚先パイプ4本をすべて同じ高さに調節してください。
●再調整する場合は、マンホールカバーから本体をはずしてプッシュボタンを確実にセットし直してください。

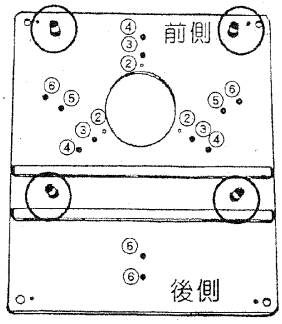
4. マンホールカバーへの取付



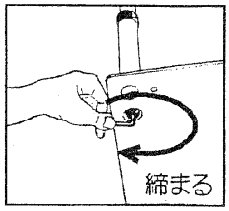


①本体の脚先とマンホールカバーのソケットを4ヶ所とも合わせて少し差込みます。
●マンホールカバーの「前」シールが貼られている方が前側になります。
②位置を確認後上から押し込み、4本の脚を同時にソケットの奥まで差込みます。
●1脚だけ押し込むと他の脚が入りづらくなります。4脚を均等に差込んでください。

5-1. 脚固定用ボルトの締付



<表面から見た図>



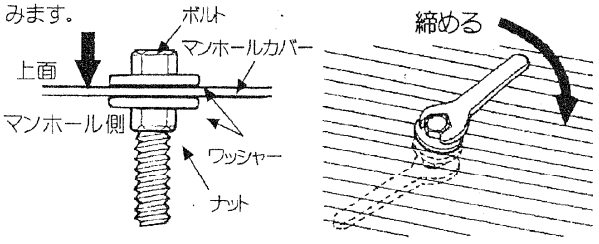
<左図○部拡大図>

本体を倒してマンホールカバーの裏面から、付属の6角レンチを使用して脚固定用ボルトを締付けます。4ヶ所(上図○位置)をしっかりと締付けてください。

5-2. 位置決めボルトの取付

《内径24～40cmのマンホールに設置する場合》

マンホール設置時の目安と横ズレ防止用に位置決めボルトを差込みます。

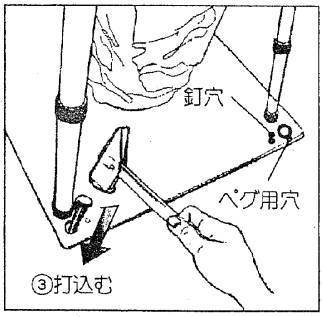


マンホールの内径が24cmの場合は②の穴に、30/40cmの場合はそれぞれ③④穴にプレート上面からボルトを3ヶ所に差込み、しっかりと締付けます。

＊マンホールプレートの上面、プレート穴位置に番号シールが貼付けてあります。

＊20cmのマンホール(汚水枡)など、小さなマンホールに設置する場合は位置決めのボルトは使用しません。

6. トイレをマンホールに設置固定



①マンホールのふたをはずします

②トイレをマンホール穴にはめ込みます

③ペグまたはコンクリート釘をマンホールプレートの4隅、4ヶ所に打込み本体を固定します。

⚠警告 **⚠指はさみ注意**

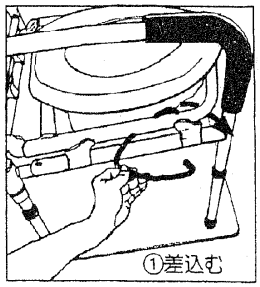
●設置の際は転落に十分注意し、また、足を挟まないようにご注意ください。
一人での持ち運びが難しい場合は複数の人で設置作業をしてください。

●設置面の状態により、付属のペグ、コンクリート釘、簡易ハンマーが使用できない場合があります。状況に応じて他のペグ、釘、アンカーや強力なハンマーを別途ご用意ください。設置面の状態は、事前に必ずご確認ください。

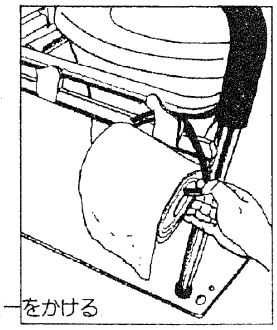
●簡易ハンマーを使用してペグを打込む際は、打撃面をペグに垂直に当てるようにして打込んでください。簡易ハンマーを斜めに当てたり、ペグを無理に打込むと、ペグ、簡易ハンマーが破損する原因になります。
付属のペグは土などの比較的柔らかい地面用です。乾いて固められたり石など混ざっている土などではうまく打込めないことがあります。この場合、無理に打込まず、他の金具、ハンマーを使用して固定してください。

●ハンマーで指をたたくなど、ケガには十分ご注意ください。

7. ペーパーの取付(設置完了)

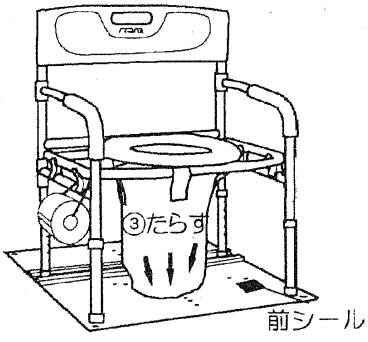


①ペーパーホルダーを差込み本体受け部に引っかけます



②ホルダーを広げてペーパーを取付けます。

＊ペーパーが回りにくい時は、ホルダーの形を整えてからご使用ください。



③ビニルスリーブをマンホールの穴の中にたらします。

⚠注意 ●設置後に、マンホールプレートの前後方向と(前シールが貼られている方が前になります)トイレ本体が地面にしっかりと固定されていることを確認します。

【警告表示の説明】＊安全のために必ずお守りください

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用する方が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用する方が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

【使用上の警告と注意】

＜組立・設置について＞

⚠ 警 告

1. 組立の際、脚先パイプのプッシュボタンが大きく飛び出た状態に固定されていることをご確認ください。
   →プッシュボタンが固定されていないと、転倒など思わぬ事故の原因になります。
2. 4本の脚先パイプをすべて同じ高さ（脚先パイプの真ん中の穴）にプッシュボタンの位置を調節してください。
   →本体ががたつき、安定せず転倒など思わぬ事故の原因になります。
3. 内径24/30/40/60㎝のマンホールでご使用の際、ボルトの取付け忘れがないようにご注意ください。
   →トイレがずれて、転倒など思わぬ事故の原因になります。
4. マンホールカバーの脚ソケットに、本体脚を奥までしっかりと差込んでください。
   →使用時に本体がはずれて転倒するなど思わぬ事故の原因になります。
5. マンホールにトイレを設置する際は、足元に十分ご注意ください。
   →転倒して、マンホールに落ちるなど思わぬ事故の原因になります。
6. マンホールカバーは、コンクリート釘、またはペグで動かないように固定してください。設置される場所によっては、付属のサービス部品の使用が難しい場合があります。事前に、状況に適した部品をご用意いただき製品をご使用ください。
   →転倒など思わぬ事故の原因になります。

⚠ 注 意

7. 組立の際にパイプに指をはさんだり、ハンマーで指をたたくなどのケガには十分ご注意ください。組立ての際には軍手などをすることをおすすめします。
8. ビニルスリーブをマンホールの穴にねじれないように差込んでください。

＜使用について＞

⚠ 警 告

1. この災害用マンホールトイレは、災害時にマンホールに設置して使用するトイレです。この用途以外には使用しないでください。
2. マンホールカバーの上で飛び跳ねるなど、乱暴な取扱いはしないでください。
3. 使用の際は、便座シートの中央に座りご使用ください。手すりや座面に偏った力をかけないでください。
   →マンホールカバーから本体が抜けたり、地面から浮きあがり、転倒するなど思わぬ事故の原因になります。
4. 製品に穴を開けたり、他の部品を取付けたり、他の部品などに取替える等の改造は絶対しないでください。
5. お年寄りや小さなお子さまがご使用される場合は、必ず介助される方が付き添いご使用ください。
6. 定期的にトイレの固定状態をご確認ください。ずれやゆるみがある場合は固定し直してください。
7. マンホールトイレ付近の安全に十分ご注意ください。

＜お手入れ、その他について＞

⚠ 注 意

1. 本体の汚れを落とす際には、シンナーやベンジンは使用しないでください。水またはうすめた中性洗剤を含ませた布を絞って使用し、拭き終わりましたら乾いた布で水気を拭き取ってください。また、金ブラシやたわしなどはキズなどの原因になりますので、使用しないでください。
2. 汚物などで汚れた場合はゴム手袋をして、水または市販のトイレ用洗剤などで早めに汚れを落としてください。
3. 万一、製品に破損、変形等の異常が現れた場合は、使用を中止して販売店または＜製品についてのお問合せ先:下記＞までお問合せください。お客様ご自身での修理は絶対にしないでください。

本体重量：約13.5㎏
サイズ　：W670×D750×H770～845㎜
（4段階調節）

⑥　マンホールトイレ用テント
（シングル）

［部品一覧］

フレームの組み立て

1.曲げパイプをセンターコネクターに差し込みます

①

①スプリング

②

②スプリングがついている方を
センターコネクターに
しっかりと差し込みます。

③

③差し込み完了

2.柱パイプを組み立てます

①

①柱パイプは鎖で
連結されています

②

②柱パイプを合わせ
差し込みます

③

③連結完了

3.曲げパイプに柱パイプを差し込みます

①

①曲げパイプに柱パイプを差し込みます。

②

②組み立てがしにくい場合は横にした状態で組み立てをしてください。

③

③骨組み完成

テント生地の取付

4.この状態でテント生地をかぶせ、整えます

生地のファスナーを開いて被せます

生地の位置を整え十分に引き下げます。

5.生地下側の四隅にある金具をパイプに差し込みます

生地四隅のリングの先にある金属棒を折り返すようにしてパイプの中に差し込みます

中に入った状態

6.床パイプを取り付けて完成

フックを柱パイプに取り付けます
入り口面は低くします。

組み立て完成

※補足

NEW！！

センターコネクターに吊り下げ用の穴（φ6）が追加となりました。フック等で照明が簡単に取り付けできます。

テント上方(軒部分)のフックを利用して付属のロープ等で建物や樹木等に固定できます(風対策)

テント下部のフックに付属のペグを打ち込み、土などに固定ができます。付属のペグやハンマーが使用出来ない場合は別途ご用意を願います

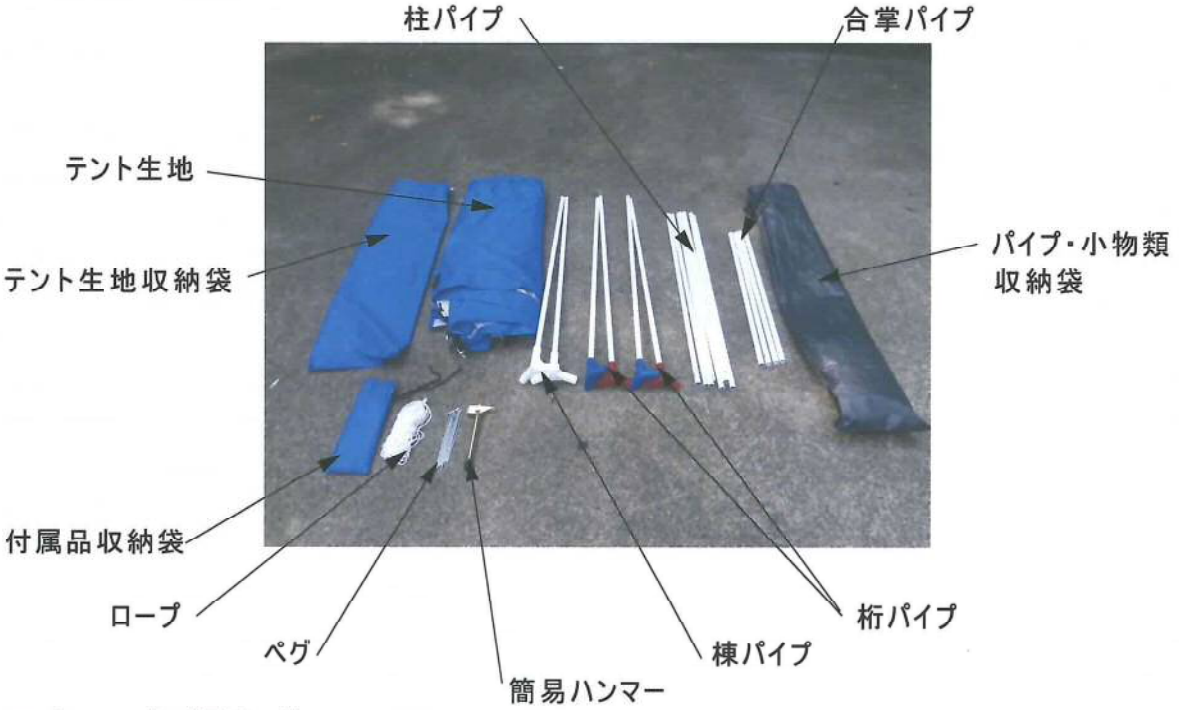
PTAS仕様
本体サイズ：W100×D100×H188　入口サイズ95×170cm　前面ジッパー開閉式。重量：5kg
「使用中」表示窓、換気用メッシュ窓、小物入れ、床固定用フック、強風用フック、
付属品　：ロープ４本、スチールペグ４本、簡易ハンマー１本
材質　：テント生地/(上部)ポリエステル150D・PU防水加工
(サイド)ポリエステル150D・シルバーコーティング加工
フレーム：スチール

株式会社イーストアイ

PTAS組立手順140829

⑥　マンホールトイレ用テント（ダブル）

「部品一覧」

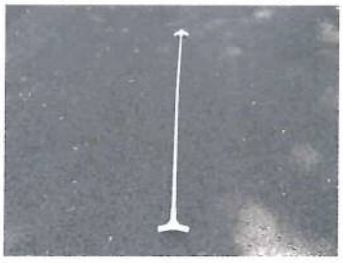


フレーム組み立て

1.屋根部分を準備します。

棟パイプ（頂上部分）
（白コネクター付）

桁パイプ（軒部分）（青、赤コネクター付）
（コネクターにGABLE・LEGの文字）



折りたたまれている
棟パイプ・軒パイプを
広げて繋げます。

棟パイプを中央に置き、両脇に桁パイプを、
置きます。桁パイプコネクターの
GABLE側が棟パイプを（頂上）
向くようにしてください。

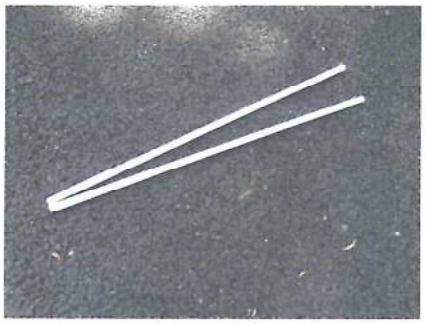
株式会社イーストアイ

2.合掌パイプを差し込み、屋根の骨組みを完成させます。

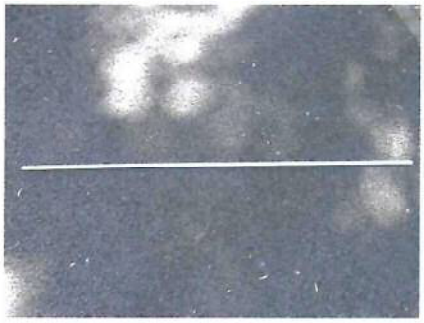
棟パイプコネクターと
桁パイプコネクターの（GABLE）を
合掌パイプで結びます。

骨組み完成

3.柱パイプを連結させ、つなげます。



折りたたまれている連結部分を
しっかりとつなげます。



連結完了

4.柱パイプをコネクターに差し込み、骨組み全体を完成させます。

桁パイプコネクターのLEGの穴に
柱パイプを差し込みます。

組み立てがしにくい場合は
先に片方を差し込みます。

骨組み完成状態

株式会社イーストアイ

テント生地の取付

5.生地をかぶせ、整えます。

ファスナーを開いて生地を
かぶせます。

生地四隅にある「あて布」が、コネクターに
あたるよう生地を引き下げ位置を調整します。

6.生地四隅の金属棒をパイプに差し込みます。

生地四隅の下側に金属棒があります。
生地を真下に引っ張りながら金属棒の先を
パイプの中に差し込みます。

中に入った状態

7.生地内側のベルクロをパイプに巻き付けて完成。

柱パイプ、桁パイプにあるベルクロをパイプに巻き付け
組み立て終了です。
入り口や換気窓のファスナーの動作を確認してください。

株式会社イーストアイ

補足

締め切り

半開放

全開放

テント上方（軒部分）のフックを利用して、付属のロープで地面や建物や樹木等に固定ができます。尚、付属のペグ・ハンマーはサービス部品ですので、設置する場所によっては使用できない場合があります。その場合は重しやアンカーなど状況にあわせた固定部品を別途ご用意ください。

テント下方のフックはペグ打ち込みや重しの結びつけなどに使用します。付属のペグが使用できない場合は別途ご用意ください。

PTAL仕様
本体サイズ：W260×D185×H207　　入口サイズ：207×170cm　重量：7.5kg
前面ジッパー開閉式で半開放、全開放対応可能。「使用中」表示窓、換気用メッシュ窓、床固定フック、強風フック、小物入れ
付属品　　：ロープ4本、スチールペグ7本、簡易ハンマー1本
材質　　：テント生地/（上部）ポリエステル150D・PU防水加工
（ｻｲﾄﾞ）ポリエステル150D・シルバーコーティング加工
フレーム　：スチール

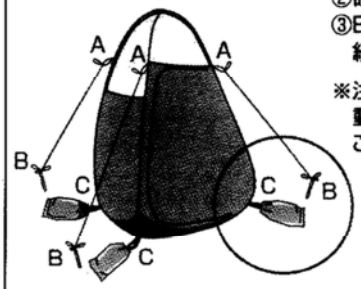
株式会社イーストアイ
PTAL組立手順140820

⑦個室テント

（110ｃｍ× 110ｃｍ×190ｃｍ）

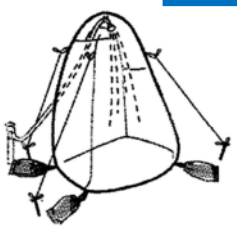
授乳室、更衣室、トイレなど色々な使用用途を想定

【組み立て方】

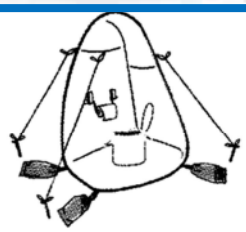


①テント入口面を前にし横に開く
②砂袋に砂を入れC部4隅に結ぶ
③B部にペグを打込み、A・B部を紐で結んで連結する

※注.スプリングワイヤーは強く反動します.他へ当たらないようご注意して下さい。

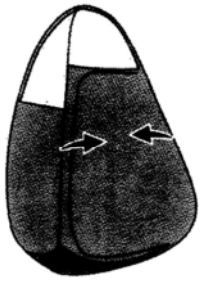


シャワーの時はテント後側の開口部より水道直結パイプをテント内側に入れ上部紐で放水口を固定する



トイレの時はテント内側、側面にロールペーパー用の金具を取りつけロールペーパーをかける

【納め方】



①紐・砂袋を外し、テント入口の両サイドのスプリングワイヤー（骨）部を引寄せ平らにする

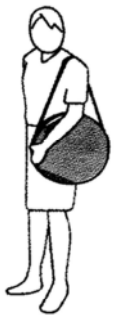
②テント上側のスプリングワイヤー（骨）部を手前に折る

③手前に折った先端を重ね足で固定する

④輪になった両サイドを内側に入れ重ねる

⑤輪になった両サイドを片方の手で持ち足で固定したテント上側のスプリングワイヤー（骨）部を内側に押込み円形にする

⑥形を整える



⑦収納袋に入れる

⑧間仕切り

（段ボール製・ナイロン製）

１室約２畳程度の広さ（高さ約１ｍ）があり、お年寄りや、乳幼児があるご家族など、プライバシーに配慮した使用を想定しています。

←段ボール製

完成寸法
W200×D200×H90
［cm］

一箱に２室入れて保管

ナイロン製→

完成寸法
W210×D210×H100
［cm］

収納時：直径　63［cm］
約３．８kg

サイズ:
- ☑ 210x210x100cm
- ☐ 210x210x120cm
- ☐ 210x210x140cm
- ☐ 210x210x180cm

付属品: ピンペグ.....4本　ボート消し.....1コ　表札.....1枚　伝言板.....1枚
マジックペン.....1本　多目的シート.....1枚

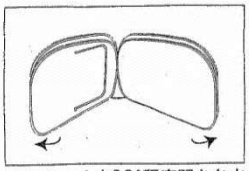
組立方法

1. 収納袋から出します。

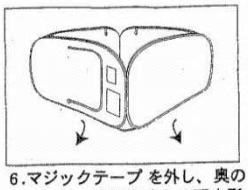
2. 正面前方のフレームを引上げます。
（これで自動的に立ち上がります。）

3. 立ち上がったフレームを手で広げます。

4. 90°回連させてフレームの曲がりが強い方を下にして設置して下さい。



5.フレームを90°程度開きます。

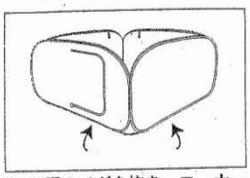


6.マジックテープ を外し、奥のフレームを引き出して正方形になるよう形を整えて下さい。

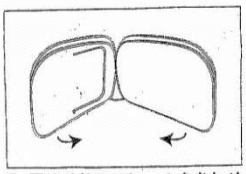
7. これで完成です。

連結する場合は、同じ色のマジックテープどうしで固定します。必要に応じて付属のペグで四隅を固定して下さい。

収納方法



1. 四隅のペグを抜き、コーナー部分を内側に押し込み二つ折りにします。

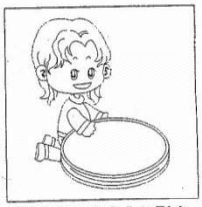


2. 両サイドのフレームをあわせます。

3. フレームを立てた状態で上部を前方に折り曲げて下さい。
（地面に接地している部分が動かないようにします。）

4. 折り曲げた部分を両手で絞り両サイドのフレームを片手でおさえます。

5.あいている方の手で前方のフレームを内側に回し込んで下さい。



6.円を重ねるように形を整え畳みます。

7. 収納袋に入れて出来上がりです。

使用した付属品は必ず所定の場所に収納して下さい。

※注意　ご使用される前に、必ず本体設営の練習を、広い場所で行って下さい。フレームがなじむまで固く感じられる事もありますが、商品上問題はありません。

※使用時にはマナーを守りましょう。撤去の際には、ゴミ・空き缶等は整理して持ち帰りましょう。

ルーム設営及び撤去上の注意

火気厳禁

- 設営場所は安全でなるべく水はけのよい平坦地に設営して下さい。
- ルーム内は火気厳禁です。ルーム外部も火気には充分注意して下さい。喫煙や炊飯は非常に危険です。決められた場所で行って下さい。
- 設営は周囲（特にお子様）の安全に注意しながら行って下さい。
- ペグ等を使う場合、ケガをしないよう注意して下さい。
- 屋外で使用する場合は、ペグ等で固定して下さい。
- たたむ時は、内部をよく掃除し、空気をよく出してたたんで下さい。
- ルーム生地は特殊防水加工をしてありますが縫製品ですので完全ではありません。
- ペグなどの付属品を必ず確認し、不足品は次回の為に補充するようにして下さい。
- 本製品は、避難時におけるプライバシーを守るために製作されたパーテーションルームです。

⑨避難所用マット

（1m×20m×厚み８㎜）
クッション性・保温性があり、体育館での下敷マットとしての使用を想定しています。

⑩避難所開設セット

避難所開設時のマニュアルやその他必要と思われる物が入っています。
ロープ、テープ、腕章、筆記用具、「避難所運営マニュアル」等

⑪防雨シート

（5.4m×5.4m）
体育館の床敷きとしての使用や、
雨漏り対策など、色々な使用用途
を想定しています。
ブルーシートの事です。

⑫発動発電機

電気やガスの供給がストップ
した場合の対策として、整備しています。

コミセンで保管しているものと違います。

⑬投光機セット

⑭コードリール

⑮保存用ガソリン（1 缶 1ℓ入り）

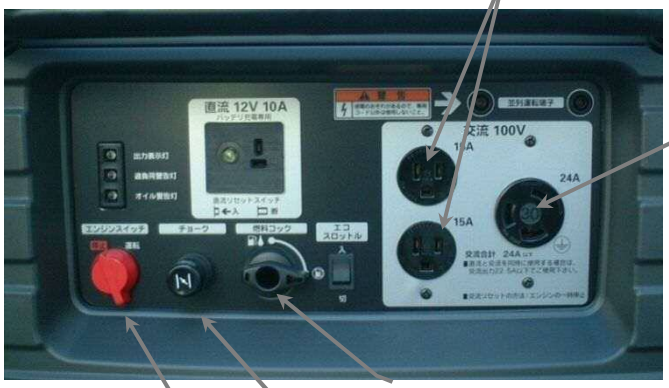
段ボール 1 箱に 4 缶入りで保管（ガソリンは、車に使用する物と同様）。
「発動発電機」使用時に、ガソリンを使用する。

⑫発動発電機簡易取扱説明書

【発動発電機の概要】

・使用燃料：無鉛レギュラーガソリン
・タンク容量：12.7ℓ
・定格出力：（交流）2400W（VA）
　　（直流）120W
・定格電圧：（交流）100V
　　（直流）12V
・定格電流：（交流）24A
　　（直流）10A
・連続運転可能時間（h）：約 20［1/4 負荷］～約 7.2［定格負荷］

【操作盤】



【操作方法】

〈発電機のかけ方〉

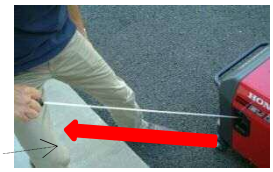
① 燃料コックレバーを
　“出”の位置にする。

② エンジン冷間時は、チョークノブを
　“始動”の位置の方向に引く。

③ エンジンスイッチを
　“運転”の位置に合わせる。

④ 始動グリップを引き、
重くなる所を探し、勢いよく引く。

重くなるところで一旦止める。



勢いよく引く。

（注）・始動グリップはゆっくりと元に戻してください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。
・運転中は始動グリップを引かないでください。エンジンに悪影響を与えます。

⑤ 始動後、エンジンの回転が安定するのを確認しながらチョークノブを徐々に戻し、暖気運転を行う。暖気運転をするとエンジン回転が安定し、電圧変動が少なくなります。

〈発電機の止め方〉

（緊急停止の場合）
エンジンスイッチを“停止”の位置にする。

（通常の停止の場合）
① 電気機器のスイッチを切る。
② プラグをコンセントから抜く。
③ エンジンスイッチを‘停止“の位置にする。
④ 燃料コックレバーを“止”の位置にする。

【保管について】

使用後は、燃料タンク内の燃料を抜き取ります。

（方法）
① 横の扉をコインなどで開ける。
② 燃料コックレバーを“出”にする。
③ A の部分をマイナスドライバーで回すと B から排出される。

ここを回して開ける。

A

B

A

B

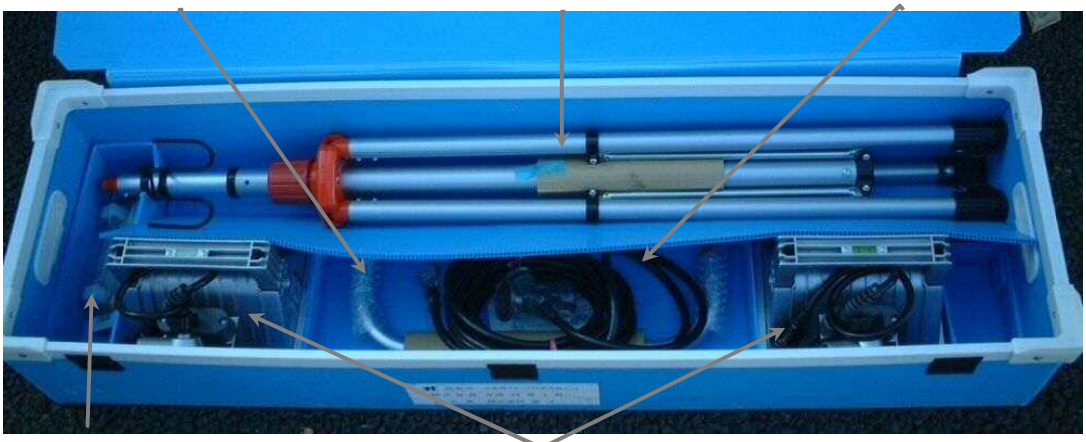
＊抜き取ったガソリンは適正に処理してください。

☆その他、詳細については「取扱説明書」がありますのでご確認ください。

⑬投光機取扱説明書

【外観および配置】

②　スタンド（上部）　　①　スタンド（下部）　　④　延長コード



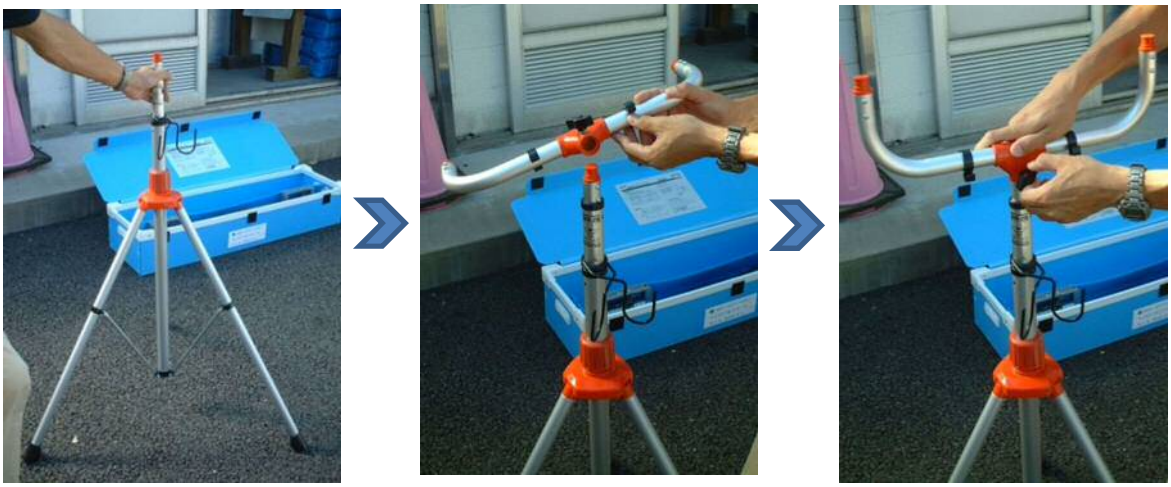
⑤　ハロゲン交換球

③　ハロゲンライト

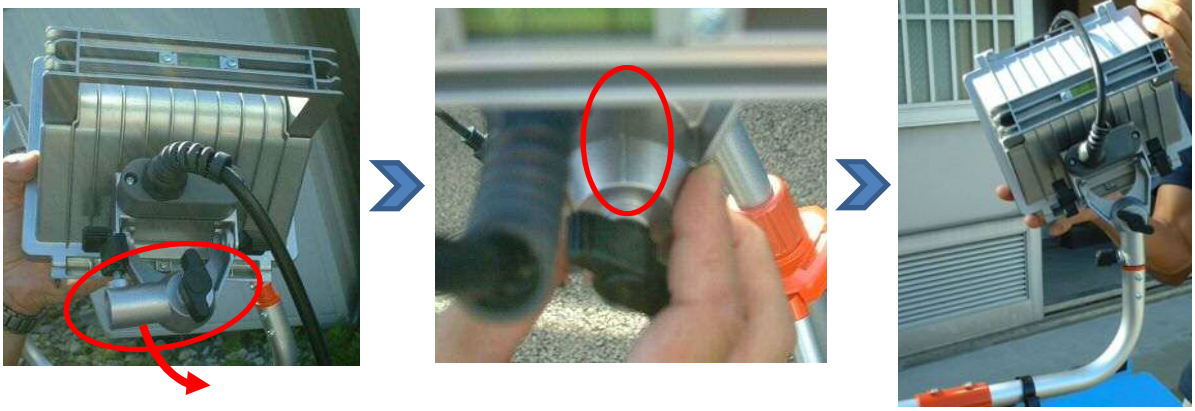
【組み立て方】

（１）　畳んである①スタンド（下部）を広げ、立てる。

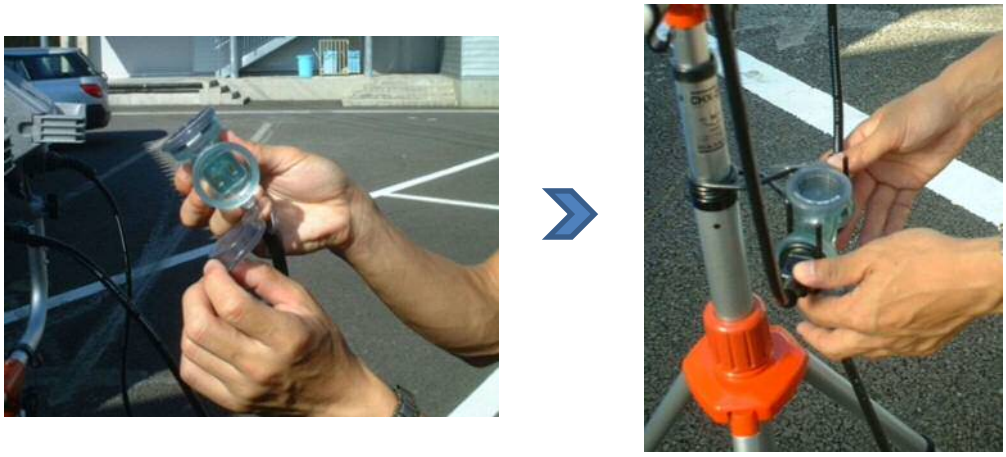
（２）　②スタンド（上部）をスタンド（下部）に取り付ける。



（３）　③ハロゲンライトの裏側にある接続部を回し、下のように合わせ、スタンド（上部）に接続する（２か所）。



（４）　ハロゲンライトのコンセントを④延長コードに接続し（２か所）、スタンド（下部）のフックに引っ掛ける。



（５）　完成

⑯ハイジャッキ（最大使用荷重は 1000 kg）

段ボール箱に収納してあります。

レバーの操作については、手を挟むなどケガに気を付けて下さい。

ハイジャッキ（HI－JAC）取扱説明書

ストックNo.E-338

ERON

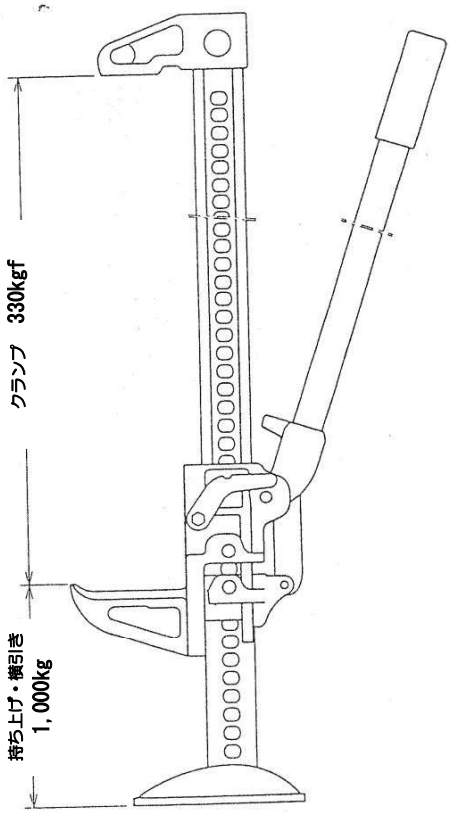
製品No.ＨＪＣ１０

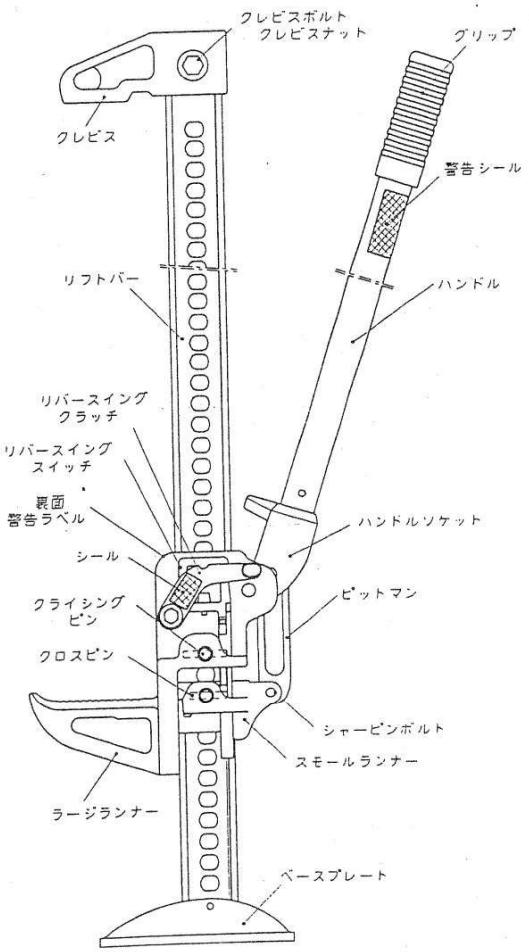
この度は、お買い上げ頂きまして誠に有難うございます。
取扱説明書をよくお読みになり、有効かつ安全にご使用下さいますようお願い致します。

警告

不適切な使用は、取り返しのつかない重大な事故を引き起こし、大怪我を負う可能性があります。

用 途：重量物の持ち上げ，横引き，クランプ
能 力：持ち上げ　最大 1000Kg
　　横引き　最大 1000Kg
　　クランプ　最大 330Kgf





毎日の点検：使用前に全体をよく観察し、部品の破損・磨耗・不足がないかをよく確かめて下さい。

注意

最大使用荷重は1000Kgです。 1200Kg以上の荷重を加えるとシャーピンボルトが過負荷防止のため、折れます。 その時はハイジャッキ用シャーピンボルトとして、当社よりご購入下さい。 高張力ボルトを使用すると過負荷により、故障・事故の原因となりますので使用しないで下さい。
又、ハンドルにパイプ等をつないで使用しないで下さい。

〈 ご 使 用 方 法 〉

製品を上げる場合

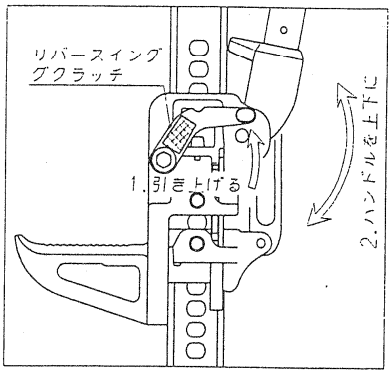
(1) 操作時以外は、ハンドルを垂直に上げて（リフトバーと平行）にしておいて下さい。

(2) ベースプレートは、フラットで安定した面に据えて下さい。

(3) ワークをラージランナーで確実に載せるか又は、ワイヤーで確実に固定して下さい。

(4) リバースイングクラッチをロックするまで引き上げて下さい。

(5) ハンドルを両手で握り、バネの音が「カチッ」と鳴るまで引き降ろして下さい。



注意

ハンドル操作はゆっくり行って下さい。 急激な操作は、シャーピンボルトに衝撃荷重が加わり、規定より低い荷重重で破損します。

(6) 次に、ばねの音が「カチッ」と鳴るまでハンドルを上げて下さい。

(7) (5),(6)を繰り返し、必要な所まで上げ、ハンドルはリフトバーと平行な状態にしておいて下さい。

(8) ワークの下に台もしくは、支えを置いて下さい。

(9) ワークを台もしくは、支えまで降ろして下さい。

注意

降ろす作業の前に、下記の品物を下げる場合の手順を読んで下さい。

品物を上げた状態

警告

このジャッキは、品物を支える物ではありません。 ジャッキで上げたワークが落下しないよう、台や支えを下にかませて下さい。 上げた品物が落下した場合は、大怪我を負う可能性があります。

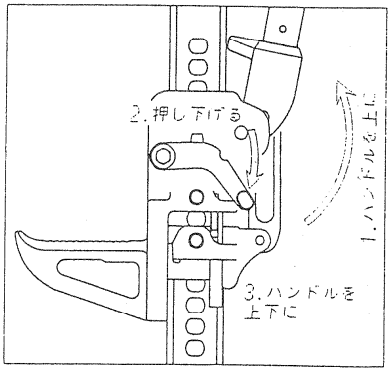
(1) ジャッキで支えたままの品物の下へ入らないで下さい。

(2) 品物を横押しして、ジャッキから外さないで下さい。

品物を下げる場合

警告

品物を下げる時に使用方法を誤りますと、危険な状態が発生しやすくなります。



(1) ハンドルを垂直に上げて（リフトバーと平行）にして下さい。

(2) ハンドルグリップを握り、左足でリバースイングクラッチを押し下げて下さい。

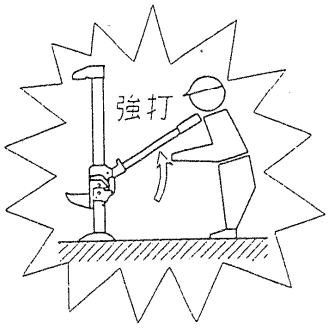
(3) 両手でハンドルを確実に握り、ゆっくりと1ピッチずつ品物を下降させて下さい。

(4) ハンドルを下げ、水平になり、ばねの音が「カチッ」と鳴るとハンドルから手に大きな荷重（品物の約1/30の荷重）が掛かります。 その時、荷重に耐えれるような体勢をとり、両手を離さないで下さい。

(5) 下降が最低高に完了するまでハンドルグリップから絶対に手を離さないで下さい。
(6) 下降を途中で止める時、リバースイングクラッチを引き上げハンドルグリップから手を離して下さい。

注意

降下時、ハンドルをリフトバーと平行にしておいて下さい。 そうでないと、降下と同時にハンドルが強い力で跳ね上がり、大怪我をする可能性があります。 又、ハンドルの動作範囲に頭・体を入れると大怪我をするがあります。 品物をリフトバーの穴一段ずつ降下させるには、最低50Kgの荷重が必要です。
50Kg以下の荷重でリバースイングクラッチを下げると、本体が急落下します。
複数のジャッキで1つの品物を持ち上げている時は、荷重が低くなる可能性があるため、注意が必要です。



品物を横引きする場合
基本操作・注意点は品物の上下操作と同様です。

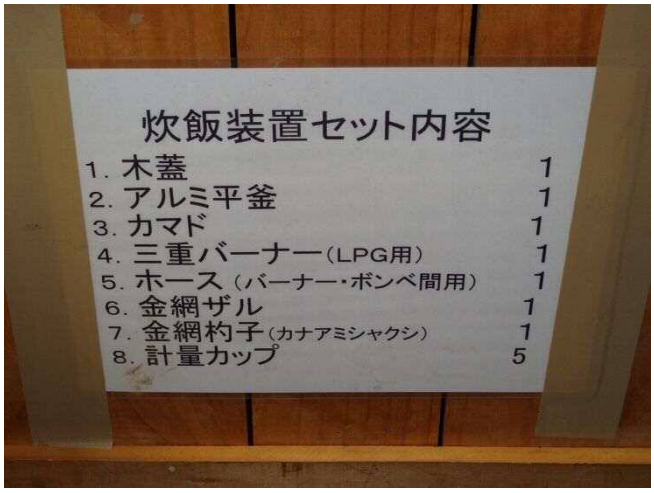
注意

品物のクランプは、ラージランナーとクレビスで行って下さい。 品物がラージランナー・クレビスから外れないよう注意して下さい。
最大クランプ力は、ハンドルに加える力の約30倍となりますので、それを超えないよう注意して下さい。
基本操作は、品物の上下操作と同様です。

《注記》
以上を読み終え、不明な点があれば当社までお問い合わせ下さい。
操作方法の確認の為、100－200Kg程度の品物で一連の操作を行って下さい。
取扱説明書は常に製品と同じ場所に保管し、紛失した時は、当社より取り寄せて下さい。

⑰炊飯装置

木箱に入れて保管してあります。



炊飯時に必要なザル、杓子（しゃもじ)、計量カップも、あわせて保管してあります。

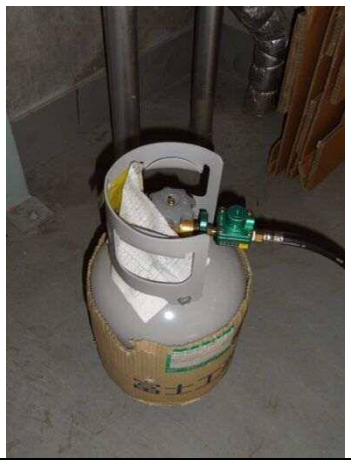
⑱救急医療セット

救急医療セット（セット内容）

１	殺菌消毒薬
２	皮膚疾患治療薬
３	外用湿布・皮膚炎用薬
４	ガーゼ
５	医療用救急ばんそうこう（大・小）
６	救急ばんそうこう（フリーサイズ）
７	救急ばんそうこう（ガーゼ付）
８	清浄綿
９	消炎鎮痛シップ剤【打撲・骨折痛等】
１０	医療用粘着紙テープ（幅９㎜）
１１	三角巾
１２	包帯（伸縮）
１３	ハサミ
１４	ピンセット【とげ抜き兼用】
１５	安全ピン
１６	メモ帳・ボールペン
１７	冊子【緊急お手当法】

⑲LP ガス装置（ボンベ庫）

LP ガスの 20 ㎏ボンベは、室外の専用倉庫内で保管しています。



ガス用の発電機を使用する際に取り付ける「LP ガスの５㎏ボンベ」は、コミセンで保管しています。

⑳折畳式　リヤカー

災害時の人命救助、物資・食料等の運搬に活用

使用時寸法：

W870×L1860×H630

自重：21 ㎏

最大積載重量：130 ㎏

(アルミ製で軽量)

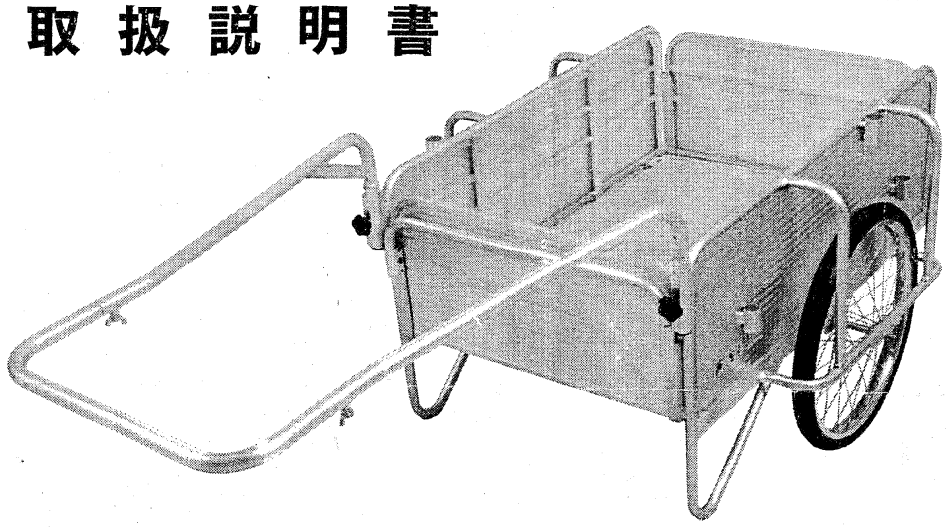
折畳時寸法：

W370×L1020×H750

アルミ合金製折りたたみ式リヤカー

PiCa PHC-130

取扱説明書



[安全上のご注意]

アルミ製リヤカーをご使用される場合、作業時において下記の警告・注意事項を無視して誤った取扱いをすると、死亡又は傷害を負う等の人身事故につながる恐れがあります。あなたや他の人への危害や、財産への損害を未然に防止するために、安全上のご注意をご理解の上、守って頂くようお願いいたします。

また、本取扱説明書は、必要な場合にはいつでも参照できるように、大切に保管してください。

[警告事項]

アルミ製リヤカーを使用した荷役・運搬を行う上で取扱いを誤った場合、アルミ製リヤカーの損傷や使用者が死亡または重傷を招く恐れがありますので、次の項目を守ってご使用ください。

1．本来の用途以外の使用禁止

アルミ製リヤカーは、荷役・運搬用物流機材として設計されています。それ以外の用途では絶対にご使用にならないでください。特に人を乗せて運搬しないでください。

2．最大積載質量を守る

最大積載質量は１３０ｋｇです。余分なスペースがあっても積載しないでください。

3．改造の禁止

後加工による仕様変更はおやめください。

4．破損品の使用禁止

アルミ製リヤカーは、通常の使用に充分耐えうるように設計されていますが、取扱い上の不備により、腐食・破損・著しい変形等をしたものは強度低下していることがありますので、危険ですからご使用にならないでください。

5．動力による牽引の禁止

アルミ製リヤカーは人力での牽引のみを使用対象としています。自転車・自動車・耕運機・フォークリフト・クレーン等の動力による牽引はしないでください。

[注意事項]

アルミ製リヤカーを使用した荷役・運搬を行う上で取扱いを誤った場合、アルミ製リヤカーの損傷や物的損害を招く恐れがありますので、次の項目を守ってご使用ください。

1．路面の確認

凹凸や傾斜している路面でアルミ製リヤカーを使用すると、荷崩れや車輪の破損を招くことがありますので、作業を始める前に必ず路面の確認をしてください。

2．荷物をはみださない

荷物をはみだして積載すると、荷物が落ちることがありますのでご注意ください。

3．トラック等による配送作業の禁止

マルチキャリーに荷物を積載した状態で車上運搬すると、荷崩れによる荷物の破損やアルミ製リヤカーの破損を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。

[お願い事項]

安全に長期間ご使用いただくために、次の事項を守ってください。

1．アルミ製リヤカーを使用するときは、事前に点検を必ず行ってください。

2．移動作業は通常、押す作業とし、引く作業時は充分ご注意ください。

3．停止するときは、完全に停止するまで手を離さないでください。

4．錆や腐食を防止するためできるだけ水濡れを避け、屋内に保管してください。また、酸やアルカリに接触すると腐食するので、その場合は直ぐに水洗いしてください。

5．組立・折畳時は説明書を読んで作業してください。

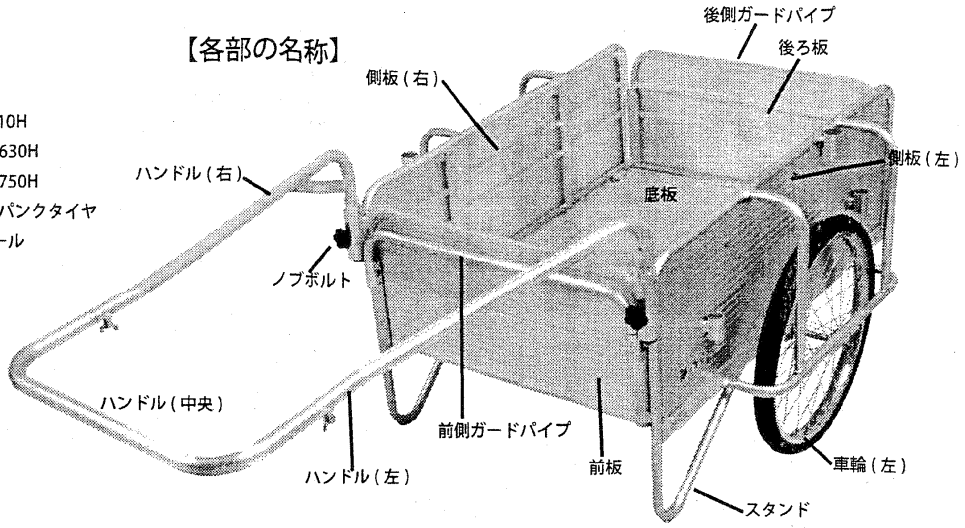
【製品仕様】

■型番：PHC-130
■寸法：荷台　600W x 900L x 310H
　　使用時　870W x 1860L x 630H
　　折畳時　370W x 1020L x 750H
■タイヤサイズ：20 インチノーパンクタイヤ
■ホイール：鉄製スポークホイール
■自重：21kg
■最大積載重量：130kg

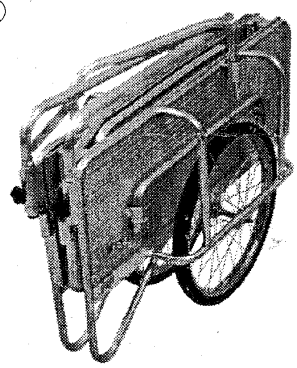
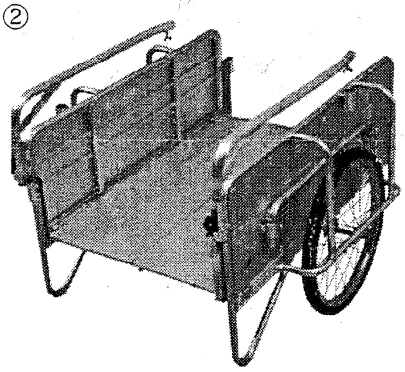
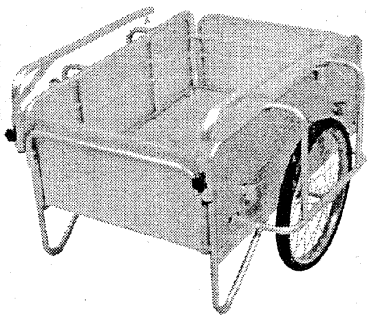
【製品内容】

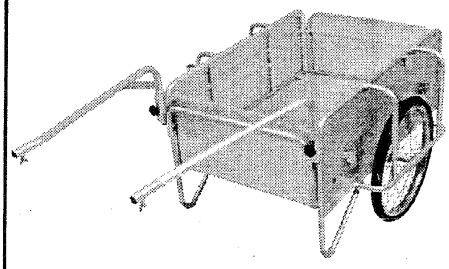
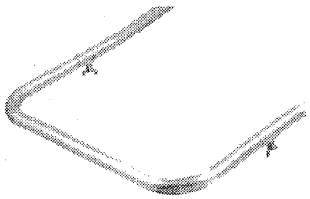
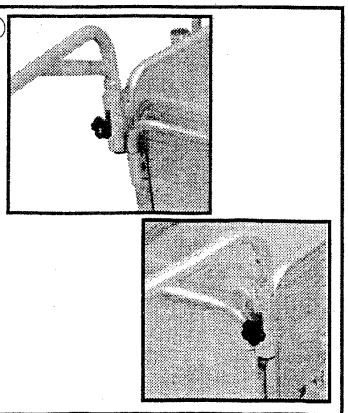
■ PHC-130 本体
■取扱説明書（本書）

【各部の名称】



【組立方法】

①	②	③
		
折畳んだ状態では、前後板は底板のすきまに収納され、取付いていません。	前後板を取り出し、側板を左右に広げると、底板が水平になった写真の状態になります。	前後のガードパイプを取り付けた後、前後板をガイドに沿って、上から差し込んでください。

④	⑤	⑥
		
ハンドルのノブボルトを緩め、左右のハンドルを前方に引き出します。	中央ハンドルを左右のハンドルに挿し込み蝶ボルトで固定します。	左右のハンドルを２ヶ所のノブボルトで固定します。 各部を点検し、ガタつきの無いことを確認後、ご使用ください。

㉑災害救助用　資機材セット

災害時の救助用資機材は、防災用倉庫の設置とあわせて、倉庫に整備します。

⑴ボルトクリッパー
⑵シャベル
⑶平バール
⑷ハンマー
⑸ツルハシ
⑹万能オノ
⑺折畳ノコギリ
⑻防塵ゴーグル
⑼防塵マスク
⑽ロープ

⑴ボルトクリッパー

軟鉄線・銅線を切断する工具

⑴注意事項⑴

- 切断端材の飛散
  （ゴーグル着用による防護）
- 電気が流れている物の切断は、
  出来ません。感電します。

⑵シャベル

⑶平バール てこの原理を利用し、ドアやシャッターなどをこじ開けたり、物を持ち上げたりする時に使用する工具	
⑷ハンマー	
⑸ツルハシ 先端部が取り外して保管しているため、使用時は、はめて使用する。 障害物を壊し、取り除く時に使用。	

⑹万能おの 他の工具と同様に、倒壊家屋などの障害物を壊し、救出する際に使用。	
⑺折畳のこぎり 他の工具と同様に、倒壊家屋などの障害物を壊し、救出する際に使用。	
⑻防塵ゴーグル ボルトクリッパーやノコギリなどの工具類を使用する際に、飛散防止として着用する。	

⑼防塵マスク のこぎり等を使用時に粉塵を吸い込み防止として使用。(2 枚入り)	
⑽ロープ 防災保管資機材の「救命ロープ」のページを参照。	

㉒救命ロープ

	ロープは、傷ついてしまうと弱い部分から切断が始まり強度が弱くなります。命を守るロープですので、大切に扱ってください。

いろいろなロープ結び

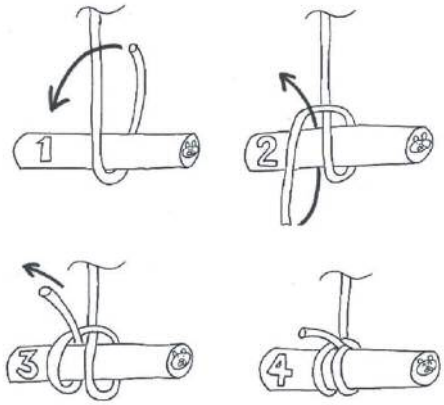
★本結び★

▶同じ太さのロープをつなぐときに使う結び方です。
▶結び目の引っ張り方を変えると簡単にほどくことができるので、救急隊の三角巾などでも使う結び方です。
▶最後にひもの端をもう一度縛ると、さらにほどけにくくなります。

できあがり

★巻き結び★

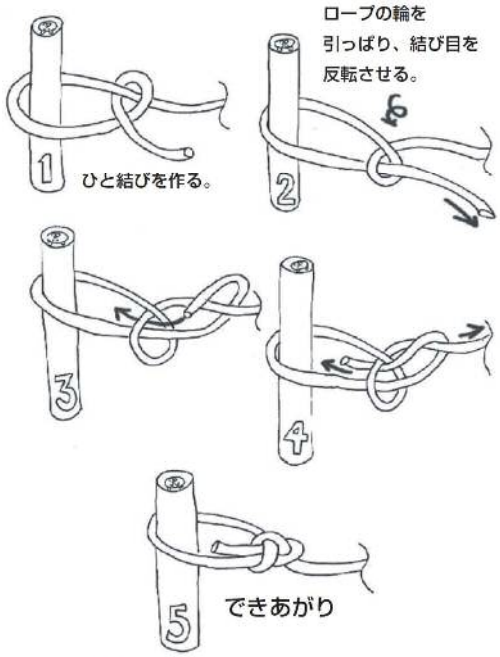
▶ロープを固定するとき、すばやく結べる結び方です。
▶また、物を持ち上げるときにも利用できます。
▶最後にひもの端をもう一度縛ると、さらにほどけにくくなります。



できあがり

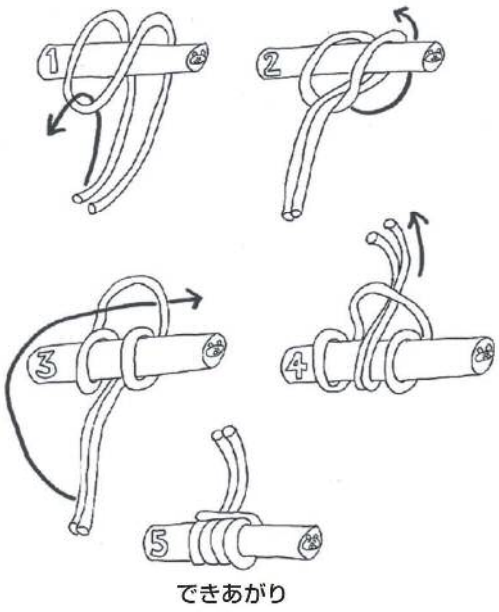
★もやい結び★

▶輪を作る結び方。災害現場で自分の身を守る命綱などに使用される結び方です
▶木などの固定物にロープを結ぶときにも活用できます。
▶最最後にひもの端をもう一度縛ると、さらにほどけにくくなります。



★プルージック結び★

▶通常太いロープに細いロープを結びつけます。
▶細いロープをゆるめるときは自由に移動し、細いロープを張れば、結び目がしまって移動しなくなります。



できあがり

「BOKOMIスクールガイド 防災教育支援ガイドブック」（神戸市、財団法人神戸市防災安全公社、NPO法人プラス・アーツ）に基づき作成

㉓特設公衆電話セット

大規模災害が発生した際に、地域災害対策本部等（地域公民館など）において、臨時に開設する特設公衆電話を設置するためのセットが入っています。

内容物：使用方法のレジメ、電話機、電話線、結束バンド、養生テープ等